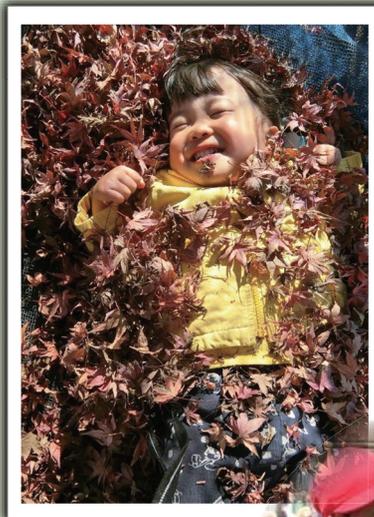


ほほのめ

No. 207

発行：千葉県保育協議会 〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3
2023年2月15日（令和4年度第2号）



東葛支会（鎌ヶ谷市立栗野保育園）
市原支会（市原市辰巳保育所）

第66回千葉県保育園振興大会

すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現を目指して

令和4年12月17日、千葉県文化会館大ホールにて新型コロナウイルス感染症感染予防のため、規模を縮小、対策を徹底し、『第66回千葉県保育園振興大会』が開催されました。千葉県知事熊谷俊人氏をはじめ、来賓のご臨席を賜り、たくさんの激励のお言葉を頂戴しました。

今年度は、長年に渡り保育に携わり栄えある千葉県保育士賞（ルビー賞）を10名の皆さんが受賞されました。



千葉県保育協議会
相談役
鈴木美岐子

乳幼児期の体験が、人としての土台を築く大事な時期であるということは誰もが知るところです。私たちは告示となっている保育所保育指針、又は認定こども園教育保育要領に基づき、環境による保育を掲げ、子どもたちが主体的に行動できる環境を大切に、自己肯定をはぐくみ、その成長を保護者とともに喜び合うことを大切にしています。今一度皆でしっかりとそのことを確かめ、実践を重ねていきたいと思っております。

国では来年度、子ども家庭庁が創設されます。子どもの権利の主体として位置づける「こども基本法」の理念は、こども家庭庁が推進するさまざまな政策に反映され、その権利が確実に保証されるそうです。大変期待をしたいところです。これからも子どもたちの幸せを願い、私たちは保護者と共に環境を大切にしながら、共に歩んでいきましょう。結びに子どもたちの健やかな成長を願い、皆様のご健勝とご活躍を祈念させていただき挨拶と返させていただきます。

0010101111010110100101010111011

少子化や核家族化の進展、社会経済の変化など、子どもと子育てを取り巻く環境が大きく変化し、子育て家庭の孤立や子どもの貧困の問題が深刻さを増してきております。不安を抱える親の対応の中核を担う皆様方に寄せられる期待はますます高くなってきております。

保育関係者への支援を行うために千葉県保育協議会の事務局を担って、資質向上に必要な研修を開催しております。また、経験の浅い保育士、園長、管理者の悩みに応えるため相談員を派遣する巡回支援事業も実施しています。また、大きな問題として、保育士不足に対応するため保育士養成施設の入学者に対する修学資金貸付事業により、令和3年度では380件の貸付を行いました。さらに保育人材の確保のために潜在保育士の再就職を支援するなど、ちば保育士保育所支援センターを設置し、令和3年度、130名の方の就職を結びつけることができました。

こうした様々な事業の実施により保育関係者の支援に力を注いでまいりたいと思っております。本大会のテーマであるすべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現を目指し、今後も事業を推進していく所存でありますので、ご理解とご協力を是非ともお願いを賜りたいと思っております。

千葉市保育協議会
会長 大森康雄



開式・閉式の辞



大会宣言

千葉県保育協議会
副会長 芝崎章吾

千葉県保育協議会
保育士部会長
服部明子



総合司会
児童憲章朗読



千葉県
社会福祉協議会
会長 石渡哲彦



来賓祝辞



千葉県知事
熊谷俊人 氏

千葉県保育園振興大会開催、おめでとうございます。また、先ほど保育士賞を受賞されました皆様方、おめでとうございます。千葉県の子どもたちを育てていただいて本当にありがとうございます。私も皆様方に表彰状をお渡しする時に、我が子が保育士の皆様にお世話になった頃を思い返しながらお渡しさせていただきました。

これまでも、保育士の専門性というものがいかに重要かということを私自信も実感しながら、保育行政の取り組みを行ってまいりました。我々が取るべきなのは、保育士の皆様方、そして保育園を支えることに尽きるかと思っています。

これからは、質の向上という部分に今まで以上に目を向けて、千葉県らしさも合わせながら、我々の千葉県の保育・幼児教育の環境を整えてまいりたいと思っております。

千葉県で生まれた子どもたちが、最善の環境中で心豊かに成長し、多くの人々を支えていくような社会の担い手として羽ばたいていけるように、皆様方と共にこれからも取り組んでまいりたいと思っております。

千葉県保育協議会
保育士部会 副部会長
田邊秀子



感謝状伝達式
司会



全国保育士会長
感謝状伝達



感謝状伝達

市川支会
大竹里佳 氏



千葉市長
神谷俊一 氏



千葉県議会議長
佐野 彰 氏



おめでとう
ございました



ルビー賞受賞者
受賞を祝い会



保育の質を高める鍵
～誇りをもたらすリーダーの命～
自彊不息塾
(保育園幼稚園経営者向け塾)
塾長 杉本哲也 氏

記念講演
動画配信



令和4年12月19日～令和5年1月31日
たくさんのご視聴ありがとうございました。

topics 楽しみです

1. 令和5年度より千葉県社会福祉センターが新しくなります。(新館)
2. 長年、千葉県保育園振興大会が行われていた千葉県文化会館の大改修が行われ、令和5年4月1日～令和7年6月下旬(予定)休館となります。

千葉県保育士賞

ルビー賞受賞、心よりお祝い申し上げます。



第66回千葉県保育振興会 令和4年12月17日(土) 於 千葉県文化会館

千葉県保育士賞は、「千葉県保育士賞要綱」にもとづき、毎年褒章委員会にて厳正なる審査の結果、千葉県知事より決定される名誉ある賞です。

今年度は、保育園振興大会の席上において10名の方が受賞されました。副賞には、子どもたちへの愛の願いを込めてルビーをあしらったブローチが贈られました。

受賞された皆様の喜びの声と、これまでの保育への熱い思いをご紹介します。



勝浦市立総野保育所 新井 敏美

「子どもが大好き」から始まり保育士となって34年。日々子どもの愛おしさや保育の奥深さを感じています。これまでたくさんの子どもたちや保護者の方々と出会い、また、職場の仲間や、先輩方、すべての方々に支えられながら、ここまで歩んで来ることができました。子どもたちの成長を目の当たりにでき、保護者の方々と共に成長を喜び合えるこの仕事に誇りを感じています。これからも子どもたちの幸せを願いながら日々の保育に取り組んでまいります。

すえひろ保育園(市川市) 石井 益美

保育を何も知らなかった私がこの世界に飛び込み、自由にのびのびと遊んでいる子どもたちに出会い、いっぱい刺激を受け、毎日いっぱい笑って、いっぱい元気をもらっています。そして周囲の方から支えてもらって今があります。この数十年、保育をめぐる社会情勢は大きな変化の中にありますが、この受賞の喜び、感謝を忘れず、これからも子どもたちと一緒に楽しいこと、面白いことを探しながらいっぱい遊び、共にまだまだ成長していきたいと思っています。

銚子市海鹿島保育所 柴田 裕子

小学校の頃、海鹿島保育所によく遊びに行き「大好きなこの保育所で働きたい!」と思いました。可愛い子どもたちから笑顔と元気をもらい、気が付いたら43年働かせていただきました。そして、この3月末で55年の歴史が閉幕します。最後の年に保育士賞をいただくことができ、感無量です。これも職場の先輩方や同僚、後輩そして私を支えてくださった多くの皆様の励ましがあったからだに感謝しています。『ありがとう!海鹿島保育所』

千葉市新宿保育所 田中 悦子

子どもが大好きで、子どもにかかわる仕事がしたいと保育士になり38年が過ぎました。毎日子どもが楽しく生き生きと生活できるために保育者としてゆるがせにできない基本は何かを考え、子どもの気持ちに寄り添い、子ども自身が成長していくことを見守ってきました。今回の賞はこれまで出会った、たくさん子どもたち、保護者そして先輩、同僚の皆さんが、私を成長させてくれ、支えてくださったおかげと心から感謝申し上げます。

栄保育園(匝瑳市) 小川 篤子

この度のルビー賞受賞、大変光栄に思います。保育科の学生だった若き日「日本のフレーベル」と呼ばれた倉橋惣三先生の「育ての心」に感銘を受け「子どもの心に寄り添う」を保育の信条として歩んで来ました。子どもたちの伸びていこうとするパワーに感動し保護者の方からの温かい感謝の言葉が心の支えとなりました。今迄、温かく見守って下さった先代と現在の園長先生、先輩、同僚そして両親に心より感謝いたします。これから先、保育士の社会的地位が更に向上していくことを願っております。

いすみ市立第二保育所 押渡部 まゆみ

幼い頃通った保育所。優しくいつも笑顔で接してくれた先生。先生への憧れから保育の道へ。その現実に大変さや難しさを感じましたが子どもたちの笑顔や「せんせい」と純粋に呼ぶ声、日々成長していく姿に沢山の喜びと感動があり、励まされた自分がいました。そして職場で出会った方々に助けられ、支えられたことに心より感謝しています。これからも子どもたちの健やかな育ちを支えられるよう努めていきたいと思っています。

館山ユネスコ保育園(館山市) 西川 生代

保育実習中の子どもたちの笑顔が忘れられず保育士になり「豊かな人間性を育てる保育を」という園の保育方針の下、本物に触れ、感動を共に味わうことを大切に努めてきました。今でもクラス担任として子どもたちと関わってられるのも、先輩方の優しく、時には厳しい励ましや、子どもたちの成長と共に喜び合った同僚や保護者の皆様の支えがあったからこそと感謝しております。これからも自身が心から楽しみ、笑顔でいることを大切に歩いていきたいと思っています。

千潟町中央保育園(旭市) 八馬 初枝

憧れの保育士となり34年の間にたくさんの方々との出会いがありました。同じ職場で仕事を続けられたこともあり、園児が保護者となりそのお子様とも関わったことはとても貴重な経験でした。これまで支えて下さった先輩方や後輩の助けにより続けることのできたと思っております。今まで関わって下さった皆様や協力してくれた家族に心より感謝し、この賞をいただいたことを忘れずに過ごしていきたいと思っております。



～DX (デジタル化)・ICT (業務簡略化) について～

最近よく耳にするDX・ICT。今まで紙ベースで行っていた事務業務も今ではPC・タブレットが当たり前になってきています。保育所(園)、こども園でもデジタル化によって保育者の業務簡略を目指すことが求められています。

今回の『ほほえみ』では会員施設へアンケート調査を実施し、現在の状況を特集にしました。

また、併わせて、オムツの補充回収処理についても調査しましたのでご参考にいただければ幸いです。

Q1. DX・ICT等を始めていますか？

導入済み52.2%
始める予定8.4%
予定はなし30.9%
その他8.5%

Q2. 導入費用、保護者負担はありますか？

最大金額412万円
最低金額補助金等の使用で保護者負担なし。
施設負担が多かったのは月2.5万程度。カード代1,000円、口座振替手数料負担でした。

Q3. メリット、デメリットを教えてください。

メリット.....業務、作業負担軽減。職員間の情報共有にも優れている。
デメリット...PCや機器類に不慣れな職員へのアプローチ。設備導入・維持費がかかる。

Q4. オムツ補充・処理はどうしていますか？

完全業者委託4.6%
保護者が担う46.8%
一部業者委託31.2%
その他17.4%

Q5. 業者委託の費用を教えてください。

最大金額.....年間25万円 [施設負担]
最低金額.....保護者負担なし [市町村負担]
保護者負担が多かったのは月3,000円程度でした。

Q6. メリット、デメリットを教えてください。

メリット.....施設・保護者に持ち帰りがなく衛生的。また、補充等の負担・軽減にも繋がる。
デメリット...保護者や施設に利用料がかかること。回収までの汚物保管場所に困る。公立は無料で私立は徴収があり、不公平という意見もありました。

今回のアンケートには日々のお忙しい業務の中、178の施設にお答えいただきました。その回答結果をまとめましたので期間限定で公開いたします。(令和5年3月31日まで)

下記QRコードを読み取りご参照いただければと思います。なお、施設名・電話番号等は削除してありますため質問等は承れません。閲覧のみでお願いいたします。

導入を検討されている施設をはじめ、業者変更をお考えの施設等、今後の参考にいただければ幸いです。

ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



令和4年度中堅保育士研修会

「これから求められる保育と保育者の役割」

～ doing保育からbeing保育への転換をめざして～

講演

令和4年10月4日(火)、中堅保育士研修会がオークラ千葉ホテルでの参集と、オンライン参加によるハイブリット形式により、「これから求められる保育と保育者の役割」をテーマとして井桁容子氏を迎え開催されました。

私たちは何をやる仕事ですか？

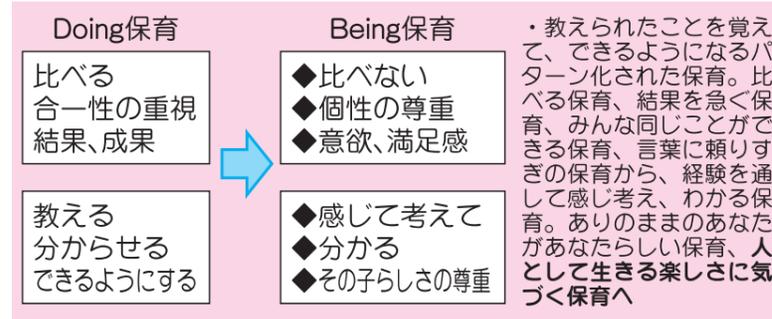
大人の役割は、子どもが幸せに生きるために、その育ちを応援すること。誰かに助けられて伸び伸びと自分を表現できれば、素敵なお大人に向かって生きていける。子どもが幸せに生きることに関わらなければ何をしても意味がない。自分の人生の困った時に、学んだこと・考えること・判断することを表現する力に乗り越えるために使えなかったらだめ。多様な関わりで協調し合いながら学び合っていくコミュニケーション、人とつながる力、能力の3つの柱がそろっていないと幸せになれない。幼児期の終わりまでに育てたい姿はやらせないで育てたいのではなく自然に遊んでいる中で育てていく。

保育者の感情は子どもに伝染する

どんな気持ちで子どものそばにいるかが重要。保育者の声色、視線、仕草、表情、口調が見ている子どもたちに伝染する。保育というのは、子どもを見る仕事ではなくて子どもに見られている仕事。

これからは何が起こるか分からない時代

ワンパターン、指示通りでは乗り越えられない。私たちは、子ども一人ひとりの特性を知って何が大事かを知っている専門家として専門性を発揮することが大事なのは。



感想

自分自身の保育を振り返り、自分自身が主体的な保育ができるようになっていくことが大切だと思いました。「保育者は人として、温かい人であればいい」という言葉が印象的でした。



講師



井桁 容子氏

東京家政大学ナースリールーム主任、東京家政大学非常勤講師42年勤務。非営利団体コードモノミカタ代表理事。「保育の根っこを考える会」主宰。

【著者】

『子ども主体で考える かみつき・ひっかき』
『未来をひらく家庭支援・保護者との関わりワークブック』
『0・1・2歳児のココロを読みとく保育のまなざし』等

顧問 相談役より応援メッセージ

子どもたちの声が園庭いっぱいに響きわたっています。我園では「自立」つまり自分で考えて行動できる子、もう一方の「自律」では自分をコントロールする力も大切に保育目標を立てて楽しく過ごしています。保育指針が変わり「環境による保育」を実践し、一人ひとりが幼児期にふさわしい生活を展開し必要な経験を得られるように具体的なねらいや内容、環境構成等の方法について話し合っています。子どもの主体性と指導の計画性を絡ませていくことを最大の課題としています。指導を見通し具体的な環境の構成や援助を考える中で子どもの主体性が育っていることを大切にしています。例えば、ままごと・お寿司屋さん・美容院等、子どもがやってみたいというコーナーをそれぞれ子どもと一緒に設けて、売り手や買い手に分かれて真剣に長時間楽しんでます。美容師役の子は保育者をお客さんに捕まえて、いろいろな髪形を工夫したりしています。ドミノ等は2階から階段を通して1階まで慎重に並べて、次々と長く倒れる楽しさを味わい歓声をあげています。環境を通して行う保育、つまり物的・人的・時間・空間等関連して作り出す状況を含めた環境に関わり、発達に必要な体験を積み重ねていく際も子どもが自ら取り組みたいくなるように保育者同士が話し合い、周囲の環境を整えていくことを心掛けています。保育者の教育的視点が必要でその子に対して、どんな成長を願うかという教育的価値を含ませて環境を構成するようにしています。子どもにとって魅力ある環境を用意し、その中で子どもが主体的に活動することを通して日頃の保育の中で育みたい資質・能力が育っていくので、子どもの発達を見通し、興味関心に添って、意図的計画的に環境を構成していくことが大切です。魅力ある環境の構成をすることにより、子どもは主体的に環境に関わり多くのことを学んでいきます。一つひとつを実行に移し、その日の保育を振り返り、毎日反省会を行い保育士同士の連携を大切にしています。

顧問 久保美和子



私が保育の道に入ったのは昭和47年。公立園への入職。一人前になるために各年齢の発達を実感することが必要と考え、当時の上司に願い出、まずはベテランの先輩と共に0才児12名を担当しました。当時0才児の配置基準は6対1。毎日が必死でした。食事の時は、一人を背中に、他の子どもたちの椅子を並べ、順番に離乳食を一人ひとりの口に運ぶ。待ちきれない子に声をかけながら…。これが現実でした。余裕のない日々でしたが、子どもたちの笑顔や寝顔を見る度に幸せを感じていたのも事実。この子たちの幸せと成長を守り育て、自分も一人前の保育者になる。と、改めて決心を固めた一年でした。早、50年が過ぎ、社会も保育界も大きく変わりました。その社会の中で生きていく子どもたちにとって、環境も含めて乳幼児期の育ちがいかに重要であるか…。直接かかわる私たち保育者の人間性や専門力が問われていることは言うまでもありません。保育者集団の底力に期待です。

相談役 鈴木美岐子



つぶやき

1歳児

11月15日 給食に七五三のお祝いのお赤飯が出ました。その日の夜の事…。

母「今日、赤いご飯食べたの？」

S「ちがうよ！ピンクだよ！」



2歳児

園庭にトンボがたくさん飛んでいました。

M「トンボが鬼ごっこしているよ」と喜んでいました。戸外あそびでもフェンスにとまるトンボを間近でみて、お砂をカップに入れて「これ、ご飯！トンボにあげる！」と可愛い姿が見られました。



「あとがき」



コロナ禍で、リモート会議やZoomでの研修会等、保育園にいながら参加できる今日ですが、やはり人と人のつながりが持てるのは参集です。皆さんの笑顔を見ながら保育を語り合いたいものですね。